

第20回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第20回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成26年2月5日（水） 午後3時30分～
開催場所	河内長野市役所 602会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	1人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）公共交通不便地域対策について</li> <li>（2）モックルコミュニティバスのアンケート結果等について</li> <li>（3）楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況等について</li> <li>（4）観光資源と路線バスを活用した取り組みについて</li> <li>（5）消費税率引き上げに伴う運賃改定について</li> <li>（6）その他</li> </ul>
会議内容	別紙会議内容のとおり

第20回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	会議内容（要旨）
事務局 （田中）	只今から、平成25年度 第20回河内長野市地域公共交通会議を開会させていただきます。本日の出欠状況ですが、藤本委員、中谷委員については、欠席されると伺っております。また、本日は、田中委員の代理といたしまして、野村様に、川幡委員の代理といたしまして、渡辺様にご出席いただいております。では、この後の議事進行につきましては、会長にお願いをいたします。
向井会長	はじめに、規則第8条第1項の規定により委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、この会議は、規則第8条第4項の規定に基づき公開とさせていただきますのでよろしくお願いします。
向井会長	【議題1】 まず始めに、議題（1）公共交通不便地域対策について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （水上主査）	（事務局より、公共交通不便地域対策について、資料1の説明）
向井会長	事務局からもありましたように、限定的な地域ですが、以前からも要望書等をいただいたりしていた経過があります。各地域とも駅から離れているということですが、自治会・町会へ入る方法としては、まず代表者の方にアプローチしようということでしょうか。
事務局 （水上主査）	はい。まずは代表者様のところへ行った上で、調査票の回答については自治会・町会で諮ってもらいたいと考えています。
田中委員代理 （野村）	この3地域について、楠ヶ丘地域と同じような方向性に持っていくということでしょうか。それとも、自治会と話し合っただけで照らし合わせていくということでしょうか。
事務局 （水上主査）	まずは自治会・町会での現状を把握したいと思っております。その後、勉強会の開催を希望されるということであれば、地域の方々と一緒に、こういったモードが良いのか、協議していく中で考えていきたいと思っております。

田中委員代理 (野村)	こういったことは常に有償か無償かという話がつきまとう問題になりますので、方向性が見えたら随時報告していただければと思います。
日野副会長	これらは1団体と考えて良いのですか。それとも、いくつかの団体に分かれているのでしょうか。
事務局 (水上主査)	団体としてはいくつもありまして、例えば向野町であれば7つの自治会・町会がありますし、桐ヶ丘については3つ、自由ヶ丘は1つあります。その地域の全自治会・町会に行こうと思っております。
日野副会長	一般的に言われる連合町会というものが取りまとめをしているわけではなく、個別の自治会・町会が独立しているということですか。
事務局 (水上主査)	連合町会は無く、個別に独立しているということです。
日野副会長	資料の1-2には団体名称とありますが、これは向野であれば7つ、桐ヶ丘、自由ヶ丘であれば4つ、それぞれから回答をもらうという理解でよろしいですか。もし全部ではなく、そのうちの1つだけという場合は、今後のアプローチとして、勉強会の有無等については回答を見てから決めていくということでしょうか。
事務局 (水上主査)	調査票は全て回収させていただくのですが、勉強会を開催したいという地域が例え1つだけでも、そこへ入って行って一緒にお話ししていきたいと考えています。
日野副会長	たぶん1つの地域だけでは成立しないですね。もし必要であれば他の町会の理解も得られた上で、どんなモードがあるかという議論が必要になると思います。
事務局 (水上主査)	例えば、向野町の地域の中で、7つのうち2つが手を挙げたとして、その2つの地域にとって最適なモードというのはなかなか考えられないと思いますので、周辺の地域も含めてトータルで適したモードを考えていかなければならないと思います。
向井会長	この会議で諮った後、どのくらいの期間での実施を想定していますか。

事務局 (水上主査)	今回ご承認をいただいたあと、すぐにアポイントをとって、直接ご説明させていただきますが、調査票につきましては、会長様だけに書いていただくのではなく、自治会の役員会等で決めていただいた総意をいただきたいので、1ヶ月程度を見込んでいます。
辻野委員	確認なのですが、桐ヶ丘、自由ヶ丘に隣接してあかしあ台があるのですが、あかしあ台からは要望等は出ていないということでしょうか。
事務局 (水上主査)	厳密に言いますと、バス停からの範囲でいくと500m以上の不便地域として、あかしあ台以外も一部地域が入りますが、まずは大きい範囲で入っている地域を優先的に進めていき、その中で問題を発見しながら最適な交通モードを考えていきたいと思います。後々、何らかの交通モードを入れるということになれば、あかしあ台等の周辺地域も含めて考えていきたいと思います。
事務局 (井上課長)	不便地域の解消として全部の地域に入るのは難しいので、今回は優先的に3地域を進めていきたいというのが事務局の考え方です。今後いろいろな地域が出てくるとは思いますが、それらについては今後の課題として考えていきたいと思います。
伊勢委員	桐ヶ丘、自由ヶ丘、向野町の人口はどのくらいでしょうか。
事務局 (松坂)	桐ヶ丘は800人、自由ヶ丘は750人、向野町は2500人程度です。
内見委員	駅やバス停から遠い、坂道が多い地域、また車を運転できない高齢者などは市内全体におられると思うので、今回はこの地域ですが、今後は他の地域も検討していくという説明がなければ、ほとんどの市民は不安になるのかなと思います。また、調査票について、個人の部分と自治会全体でお答えいただく部分が混在していると思います。例えば、くすまるを知っていますかという質問については答え方に困ると思うので、書き方の説明が必要になるかなと思います。
事務局 (井上課長)	河内長野市では、公共交通のあり方の中に空白地域と不便地域を定義しました。その中で、あくまでも交通会議としては不便地域を解消することが現在の計画です。また、車を運転できない高齢者については、全ての地域というわけではなく、空白・不便地域の部分でそれらを解消していくという考え方でございます。

内見委員	空白・不便地域に入らない地域の方々も同じ課題を持っておられる中で、計画に基づいてというのは、我々は理解できると思いますが、市民からしてみればいろいろな不便は同等にあると感じておられると思うので、対外的に十分な説明が必要なのではないかと思います。
浅井委員	駅あるいはバス停から 500m 離れていて、かつ坂道が多い地域として 3 地域を挙げられていますが、他の地域も合わせた総数はどのくらいあるのでしょうか。
事務局 (水上主査)	全体の不便地域として、3 地域がありましたが、楠ヶ丘については現在解消しています。残りの大きなブロックでいうと、2つの地域になります。駅、バス停から 500m 以上としては、松ヶ丘西町等についても一部入るのですが、優先的にさらに遠い桐ヶ丘、自由ヶ丘に行きたいと考えています。
事務局 (井上課長)	エリアとしては、空白地域が 1 か所、不便地域が 3 か所ありました。そのうち、楠ヶ丘地域についてはくすまるによって解消したということです。あと、大きく分けて 2ヶ所あります。不便地域というのが、駅、バス停から 500m 離れているという考え方です。これらは、第 3 期の連携計画では見直し等も考えていかなければならないのですが、一般的に徒歩圏内としては、バス停から 5 分、駅から 10 分となっておりますので、概ねその圏内を除いた上で、今回の対象地域として考えさせていただきました。
田中委員代理 (野村)	この 3 地域については、タクシーの配車エリアでしょうか。
棕本委員	近鉄タクシーは、河内長野では 6 台しか営業しておりませんので、駅からの配車になると早くても 10 分くらいはかかると思います。
池谷委員	配車については 10 分以内で行けると思います。
田中委員代理 (野村)	この 3 地域については、配車の頻度はどれくらいでしょうか。
池谷委員	頻度については問い合わせしないとわからないのですが、不便な地域ですので、ある程度タクシーは呼んでいただいていると思います。

田中委員代理 (野村)	公共交通は、バスだけでなくタクシーも含まれますので、タクシーも選択肢に入れてもらえるようお願いしたいと思います。
向井会長	調査票については、内見委員がおっしゃったように、個人に聞くところと、団体に聞くところは違うと思うので、そこをもう一度事務局で精査していただければと思います。地域に入っているいろいろなことを聞かないとわからないので、ポイントを絞って地域の方々のご意見をいただく中で住民の参加促進を図って、楠ヶ丘地域のような形になれば良いと思います。
川幡委員代理 (渡辺)	空白地域というのはどのようなところでしょうか。
事務局 (井上課長)	空白地域というのは、バス停から 500m 以上、鉄道駅から 1 km 以上離れているところで、ある一定の連帯した家屋のあるところです。河内長野市においては下里地域のみで、過去にバスの試行運行等をしたのですが、利用者数が大変少なく、現在のところは協議が止まっているという状況です。
向井会長	それでは、議題（１）については、よろしいでしょうか。
向井会長	【議題２】 つづきまして、議題（２）のモックルコミュニティバスのアンケート結果等について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (松坂)	（事務局より、モックルコミュニティバスのアンケート結果等について、資料２の説明）
伊勢委員	資料２－３の②番の認知度について、車内広告を強化するという話でしたが、知らない方が 63% いるわけですから、車内で広告をやりすぎても乗っている方にだけしか効果がないので、これまでの回覧等で周知したほうが良いと思います。
堀委員	だいたいこのような調査は年に 1 回くらいですよ。そうすると、日曜も平日もたった 1 日の調査で今後の傾向を決めていくのか、というのが少し気にかかります。

事務局 (井上課長)	この調査は事務局が乗り込みで行っております。調査としては確かに1日なのですが、毎年のように行っておりますし、日々の状況も日によって大きく変わるということもございませんので、ある一定の方向性、傾向というのはわかると考えております。
日野副会長	通常こういった調査の場合は、月曜や金曜など、特異日を除くと思います。バスであれば天候なども考慮されて調査されていると思います。昨年うちの大学で調査した際は、モックルバスだけでなく、駅に降りた人全てに調査をして、同伴者割引についてもお聞きしました。そういったものと照らし合わせながら回答について精査されると良いと思います。日曜日のアンケートについては、通院での利用は無いですね。平日の調査では、通院での利用目的が多く、高齢者が中心です。調査結果だけ見ると、平日についても、高齢者の方々がお子さん、お孫さんと病院に行かれる機会が多く、ニーズは多いと思います。そのあたりはデータを精査した上で、検討していただければ良いと思います。
徳田委員	資料2-3の①番について、記載されている利用者数は、割引の対象になっている利用者数か、それともそれらも含めた全体の利用者数か、どちらでしょうか。
事務局 (松坂)	全体の利用者数です。
徳田委員	その中で、どれだけ同伴者割引を利用されたかわかりますか。
事務局 (松坂)	把握できておりません。
向井会長	モックルバスの利用者が平成22年から23年に増えて、それ以降は横ばいの状態になっていますが、利用者のエリアから高齢者の動態などをつかむのは難しいでしょうか。
事務局 (松坂)	そこまでの分析はできておりません。
堀委員	バスの入口のカード挿入箱などで同伴者割引の案内をしても良いと思います。

向井会長	<p>それでは、議題（２）については、よろしいでしょうか。</p> <p>【議題３】</p>
向井会長	<p>つづきまして、議題（３）の楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況等について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （田中）	<p>（事務局より、楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況等について、資料３の説明）</p>
向井会長	<p>１月の回数券の販売数などはわかりますか。</p>
第一交通	<p>現在で、５００セットほど売れており、残りの５００セットは自治会さんに持って行っていただいています。</p>
田中委員代理 （野村）	<p>収支率がとても高いのは、行政からお願いするのではなく、自治会の方から提案しているという部分が一番の要因だと思います。今後、くすまるのような活動を他地域にも広めていくということなので、ぜひ継続していただきたいと思います。</p>
向井会長	<p>それでは、議題（３）については、よろしいでしょうか。</p> <p>【議題４】</p>
向井会長	<p>つづきまして、議題（４）の観光資源と路線バスを活用した取り組みについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （田中）	<p>（事務局より、観光資源と路線バスを活用した取り組みについて、資料４の説明）</p>
向井会長	<p>発行はいつごろでしょうか。</p>
事務局 （田中）	<p>３月までにできればと考えております。</p>
日野副会長	<p>関西サイクルスポーツセンターは期間限定なので、できるだけ早く発行したほうが良いですね。</p>
向井会長	<p>モックルカードなどの利用状況はどのようなものでしょうか。</p>

南海バス	年々認知度も高まっており、利用は増えていると思います。
向井会長	現状は、花の文化園と関西サイクルスポーツセンターの割引のみですが、他の施設等とは交渉していないのですか。お寺の拝観料など、なにかできれば良いと思います。
事務局 (井上課長)	割引等については、商工観光課などでも実施しておりまして、それらと一緒にしてしまうとアピールポイントが薄まってしまいます。今回であれば、関西サイクルスポーツセンターは無料ということで、これは他にはございませんので、今後も他とは異なる特別な特典を狙っていきたいと考えております。
曾和委員	花の文化園に行く際に、近くまでバスが行くことはできないのですか。
向井会長	地域活性・交流拠点が宮ノ下駐車場にできますので、その際にバスを通すことはできると思います。
堀委員	関西サイクルスポーツセンターなどは市外からも来られると思いますので、なんば駅など、市外の施設にも配ってPRすれば良いと思います。
事務局 (松坂)	市外についても、河内長野を紹介しているパンフレットを置いている駅もあるので、一緒に置かせていただきたいと思います。
向井会長	それでは、議題（４）については、よろしいでしょうか。
向井会長	【議題５】 つづきまして、議題（５）の消費税率引き上げに伴う運賃改定について、事務局から説明をお願いします。
南海バス	（南海バスより、消費税率引き上げに伴う運賃改定について、資料５の説明）
植田委員	消費税率の変更に伴って各業界とも対応に苦慮されていると思いますが、乗合バスにつづきまして、国のほうから、間接税である消費税については消費者に公平に広く負担を求めるという方向性を示していただいております。当社としましても、増税分に関してはお客様に転嫁させていただきたいと考えております。値上げ分をバス事業者が取り込むという話もありますが、その分は税金として納めるということですので、なん

	<p>とかご理解いただきたいと思います。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>くすまるについてはどうなりますか。</p>
<p>事務局 (水上主査)</p>	<p>くすまるにつきましては、現在の協定書では税込みになっておりますので、いったん税抜きにさせていただき、そこから 8%をかけていきたいと考えております。料金改定ではないので、利用料金はそのまま変わりませんが、こちらの負担分が変わります。追加ですが、南海バス様からご説明がありましたように、モックルコミュニティバスと路線バス千代田線についても値上げとなりますが、上限 200 円運賃は引き続き実施していきたいと思います。ただし、今後さらに 10%に上がる場合は、上限運賃の引き上げも検討しなければならないと考えております。</p>
<p>向井会長</p>	<p>それでは、議題（5）については、よろしいでしょうか。 その他に、これまでの中でなにかご意見等はございませんでしょうか。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>冒頭の空白・不便地域の規定について、市では鉄道駅から 1 km、バス停から 500m ということでしたが、一般的に他の地域で採用されているのが、鉄道駅から 800m、バス停から 400m、コミュニティ系のバス停から 200m といった水準になっています。先ほどのご説明のように、鉄道駅から 1 kmというのは歩くのは大変だと思いますので、市が提供する交通サービス水準の見直しについて、今後検討されると良いと思います。もう一点として、昨年も大阪府下の公共交通担当者の連絡会議が開催され、いろいろ情報提供していただいたのですが、隣接市との連携について、市の間を走っているバスなどについては、両市で負担しあいながらも利便性を上げていくべきだと思います。また、事業者間の連携もやっていかなければ厳しいと思います。以前から申し上げているように、値段も高くて不便ということになると、公共交通全体の乗客数が減ってしまいます。一つは料金の問題ですが、もう一つは、車両や運転手といった人材や資材などの連携がないことです。バスとタクシーなど異種の事業者間での連携も可能な範囲で運輸局や大阪府からいろいろご指導をいただきながら検討していく必要があると思います。これらについては、来年度に皆様で検討いただければと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>隣接市や事業者間での連携などについて、広域的な動きはなにかありますか。</p>

事務局 (水上主査)	桐ヶ丘、自由ヶ丘につきましては、隣接している大阪狭山市のバスが走っておりまして、実際に利用しているという声も聞いておりますので、今後は隣接市との連携も含めながら考えていきたいと思ひます。
浅井委員	南河内では、特に公共交通を課題とされておりまして、隣接市との連携でいいますと、隣の市がなにをしているのかわからないという声を聞くので、お互いの状況を PR していく必要があると思ひます。富田林市や河南町、千早赤阪村もいろいろと悩んでおられるので、そういった近隣市をつないでいくのが我々の仕事であると思ひます。特に河内長野市は積極的に取り組んでおられるので、しっかり PR していきたいなと思ひます。ただ、事業者間の異種のモードの連携については難しいので、今後しっかり対応していきたいと思ひます。
日野副会長	ヨーロッパでやっているような運輸連合は日本ではなかなか定着しないので、公共交通の料金がなくて利用者が離れていってしまいます。これは事業者の中でも、割引分や決済の負担などいろいろな問題があるのですが、今はカードが普及しはじめてるのでシステムのにも運用しやすくなっていると思ひます。あとは、採算の問題ですが、国が交通政策として今後どうしていくのか、ということに関わってくると思ひます。自動車に多く乗られると、どうしてもバスや鉄道や自転車などが減っていきますので、全体の交通政策の中で事業者の協力をいただきながら、乗客を確保できるような方法を考えていけば、そこまでのマイナスにはならないと思ひます。難しいのはわかりますが、こういった機会にさまざまなところで考えてみようというきっかけができれば良いと思ひますし、いろいろな会議の場で話が出れば横のつながりもできて、少しずつ前進していくと思ひます。
井戸委員	楠ヶ丘乗合タクシーの将来的な財源について、便利さを享受しているのは個人の方々なので、受益者負担という考え方を持っておかなければ、どちらももたない気がします。楠ヶ丘地域の方々是非常に喜んでおられるという話ですが、これが他の地域に展開したときに、公共交通会議に対する補助財源がどこまで続くかということもありますし、現在、輸送業界で指摘されているサーチャージ代も増えてきて負担が大きくなっています。それに対して、利益を被っている方々の負担は大きくなっていないですね。財源が続く間は良いですけど、河内長野市民全体が負担している中で、不条理な意識ができたときに全て破綻してしまう危険性があると思ひます。あと一点、アンケートで調べていただきたいのが、実際に利用する方々はなぜ利用するのかということです。中には、あえ

	<p>て車を置いて、くすまるを利用されている方が増えている可能性もあると思います。そういう違った見方をすれば、アンケートの結果も違ってくると思います。あと、会議とは関係ないのですが、せっかく観光資源と路線バスを活用した取り組みをされるのであれば、観光資源にもっと投資してほしいなと思います。市の魅力を開発していかなければ将来的に厳しいと思います。それともう一点ですが、他府県から来てくれる知人から、河内長野は案外近いとよく言われます。知らない人からするとかなり遠いというイメージがありますが、時間的な距離は非常に短いので、そういったところも含めて観光資源へ投資をしていただけたらと思います。</p>
日野副会長	<p>今回のアンケートで、同伴しない人の理由として、同伴する人がいないという回答が6割以上もあります。今回はバス利用者に聞いているので、移動ができていない人ということなのですが、今後、独居の方や外出できない方が増えていく中で、デリバリーやタクシー券配布だけではなく、そのような方々を近所の方がこのサービスを利用して買物などに連れ出したりできる取り組みが必要だと思っています。将来的には、日曜日に限らず平日に行くことも考えられると思います。出かける人を、公共交通を利用していかに出かけていただくか、ということは今後検討していただければと思います。</p>
徳田委員	<p>高齢者の安全という意味で、免許証の返納制度が進んでいるところもあるようで、返納した後に公共交通を利用しやすくなるような割引制度があり、バスやタクシーで1割程度の割引をやっておられます。そういったところの情報なども交換させていただければと思います。</p>
日野副会長	<p>府全体としてはありますが、市独自でもできます。協賛するお店や市の居住者に別途できるようになっていますので、市の中で、商工などと一緒にやっていただければよりメリットが出てくるのではないかと思います。</p>
浅井委員	<p>免許返納制度に対してプレミアムをつけるということについて、大阪府では今のところ割引などの実施例は認知していない状況です。現在免許返納に力を入れているのは事実ですが、受益と負担の関係もありますし、福祉サービスとしての部分と、公共交通政策としての部分があると思いますので、まだなかなか踏み込めておりません。</p>
日野副会長	<p>一昨年くらいまでは、近畿圏では兵庫県が非常に多かったのですが、そ</p>

	<p>れは、神戸市が中心となって力を入れており、公共交通の割引や協賛店舗の割引などがあったからです。大阪府では兵庫県の半分以下程度だったのですが、2年前くらいから免許返納を進める方向になって、協賛するお店も増えてきました。また、大阪府の場合は、市が独自で取り組まれているケースも多いようで、協賛するお店や施設利用に対しての割引など、市独自で考えられることだと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>それでは最後に、その他案件として事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (井上課長)</p>	<p>現在、モックルコミュニティバス車内で絵画を展示する絵画展を開催中ですので、機会があれば見ていただければと思います。次回の公共交通会議については3月11日に開催予定でございます。詳細が決まりましたら、また改めてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>それでは、委員のみなさまよろしいでしょうか。本日は長時間に渡りましていろいろなご議論をいただきありがとうございました。また、いろいろご意見等お聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>